

クリーンアップ作戦「ゴミ探検 DX」活動報告

大関からきれいなまちをつくろう

～子どもとつくる環境を守る条例を目指して～

フィールドワークに向けての出前授業

6月8日(木)、9日(金) 大関小学校

大関小全児童を対象に、プラスチックごみが自然環境にどんな影響を及ぼすのか、また、陸地から出たゴミはどこへ辿り着くのかなどを学びました。



海からの贈り物シーグラスを探しに行こう

6月25日(日) 鷹巣海水浴場

大関小学校創立 150周年記念 SDGs 企画として、海岸で波に揉まれて角の取れた綺麗なガラス片を拾い集めました。



大関小学校で子ども会議

6月29日(木)、7月13日(木) 大関小学校

大関小全児童を対象に、「なぜ、世の中にはゴミが多いのか」などの話し合いから意見やアイデアを出し合い、条例づくりに生かすための会議を行いました。



子どもとつくる環境を守る条例に向けたワークショップ

10月7日(土)、11月3日(金・祝) 大関コミュニティセンター

子ども会議の意見や過去3年間のゴミ探検で出た「いつまで私たちがゴミを拾い続けなければならないの?」「ゴミを減らすにはルール作りが必要なのは」という児童の声を反映させ、WSを開いて条例案をまとめました。

幼保・小・中・大学生と地域住民約60人でゴミ探検 DX

11月3日(金・祝) 大関コミュニティセンター

ゴミの調査を始めて4回目のゴミ探検。今回はLoGoフォームでゴミの種類や写真を送信し、グーグルマップ上で情報共有。コース毎にゴミの総量やゴミの数を種類別に集計したグラフも作成。昨年と比較し、ポイ捨ての現状を調査(裏面集計参照)。発表では、コース毎に情報を盛り込んだグーグルマップをスクリーンに映しだし、拾ったゴミの感想や自分にできること、さらにみんなに伝えたいことなどを児童たちが堂々と発表しました。



裏面へつづきます

フィールドワーク 九頭竜川河口部で親子ゴミ探検

6月10日(土) いざき親水公園

出前授業で学んだあと、親子で九頭竜川河口部に行って、陸地から川や海にどのようなゴミが流れ着いているのかを自分たちの目で確認することが出来ました。



シーグラスアートを作ろう

8月19日(土) 大関コミュニティセンター

みんなで拾ったシーグラスや貝殻を再利用し作品を制作。大関小学校の玄関に飾って創立150周年記念式典を盛り上げました。



さかい未来創造座談会

6月14日(水) 大関コミュニティセンター

市長と地域住民が語る座談会にキッズクリーン隊が参加し、市長へアクションプランの発表と自分の意見を堂々と述べました。



ゴミ探検後に参加者からいただいた感想

- ・初めてゴミ探検に参加して、こんなにゴミが落ちているのかと驚きでした。割れていたり、破れているゴミは拾うのも大変でとても時間がかかりました。
- ・歩道の隅にたばこの吸い殻、お菓子の袋、肥料の袋などたくさんのゴミが落ちていました。車道にも空き缶やペットボトルが捨てられていて、車から捨てられたプラごみが風で飛ばされて排水溝の中に入っていくのかなと思いました。
- ・たくさんのガラスやカミソリなどの危険物や家や車の鍵、ドライバーも落ちていてうっそ〜!て思わず言っしまいました。空き缶や紙もたくさん落ちていてこんなにゴミがあって大変だなと友達と話していました。
- ・小中学生や大学生が積極的に活動に取り組む様子を見て、このようなまちが日本中に広がったら本当に素敵だなと思いました。

etc.

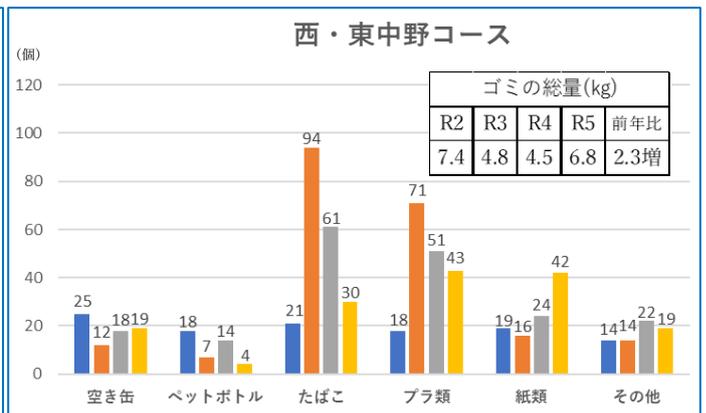
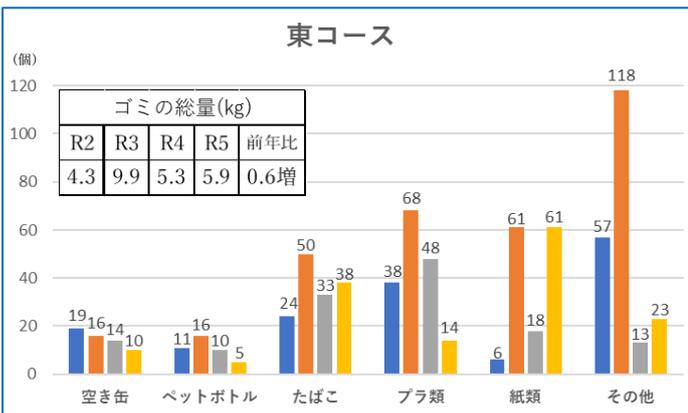
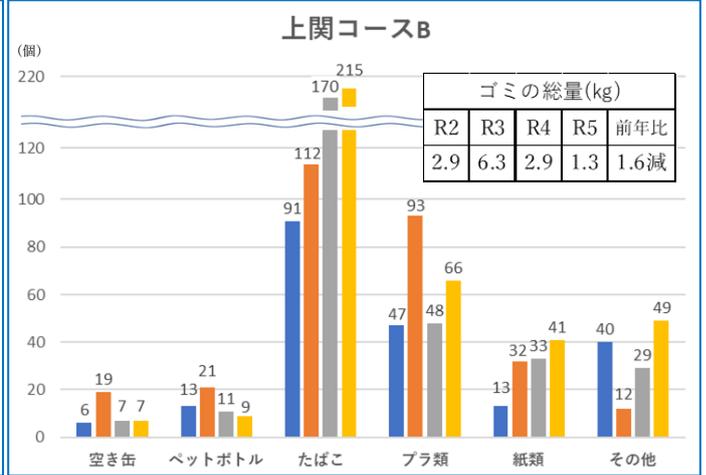
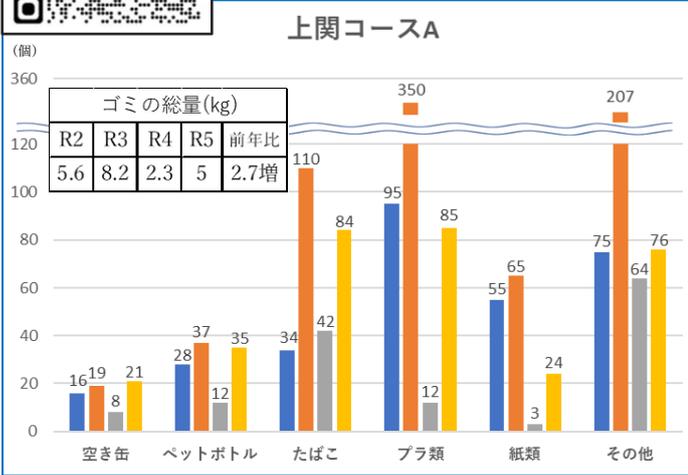
コース毎のゴミの総量と種類別集計

■ 令和2年 ■ 令和3年 ■ 令和4年 ■ 令和5年

※調査コースに加え、坂井きらめき施設周辺のゴミ拾いも実施



※ログの調査結果



【協力団体】大関小学校、坂井中学校、福井県立大学、大関小学校PTA、大関地区区長会、県民せいきょう坂井きらめきスマイルネットワークさかい、坂井市(市民協働課、環境推進課、情報統計課 DX 推進室) 大関コミュニティセンター、大関まちづくり協議会

今回の環境保護活動に福井県立大学の皆さんが仲間入り。出前授業や子ども会議のファシリ補助、議事録の作成を担当。子ども発の条例づくりのWSでも児童たちから上手く意見を引き出す活躍ぶり。学業や就活、アルバイトを調整してのご協力にただただ感謝するばかり。若さと明るさで活力を与えてくれたこの活動が、日本の環境保護をリードしていけるよう今後も精一杯力を尽くしていきます。(N.H)

